

## 発刊にあたって

本市では、芦屋市議会において、昭和60年10月15日に「非核平和都市宣言」を決議し、これまで様々な平和事業を実施してまいりました。

昨年の7月には、「核兵器禁止条約」が122か国の賛成多数で採択され、核兵器のない世界を目指すうえで歴史的な一歩となりました。

戦後、日本は一度も戦争を経験せず、世界でも有数の平和な国になりましたが、戦後70年以上が過ぎ、戦争を知らない世代や若者に戦争の悲惨さ、平和の尊さ、命の大切さを語り継いでいくことが近年課題となっています。

芦屋市では戦争を体験された方々の証言を記録する活動を進めており、この度、新たに証言をいただいた方のお話に加え、平成29年度に実施した主な平和事業をとりまとめ「戦争体験記録集」を作成しました。

多くの方々にこの記録集をお読みいただき、戦争の記憶や記録が次世代へと語り継がれ、平和を大切に作る心が広がっていくことを切に願っております。

最後に、発刊にあたり御協力いただきました皆さまに心より御礼申し上げます。

平成30（2018）年3月

芦屋市・芦屋市教育委員会

# 非核平和都市宣言

緑濃い六甲の山、青く澄みきった空、清らかな川の流れ、夕日に映える瀬戸の海、この美しい自然は、わたしたちの宝であり、未来の子供たちに残すことは、わたしたちの願いです。けれども、この願いに背をむけるかのように核兵器は増え続け、世界を破滅の淵においやろうとしています。核兵器の廃絶は、今や、全人類の死活にかかわる最も緊急の課題であり、最大の願いにほかなりません。戦後いくたびか、平和を願う人類の理性と決意は、核兵器の使用と核戦争を防いできました。わたしたちは、この理性と決意を信頼し、かけがえのない生命の星、青く輝く地球を笑顔にあふれる子供たちに残すため、いまふたたび、心をひとつにして核兵器を廃絶するよう、全世界によびかけます。そして、国是である非核三原則の厳守を強く希望するとともに、わたしたちの街・芦屋をいかなる形であろうとも核兵器に関連して使わせないことを自ら決意し、ここに非核平和都市であることを宣言します。

芦屋市議会(昭和60年10月15日決議)



戦後70年及び非核平和都市宣言30周年を記念してこの銘板を設置する。

平成27年(2015年)10月15日 芦屋市

## 目 次

### I 戦争体験記録

田島 滋さん，禮子さん夫妻の戦争体験記・・・・・・・・・・ 1

宮下 清さん，岡田 保子さん兄妹の戦争体験記・・・・・・・・ 14

対談 深堀 輝行さん，千葉 孝子さんの被爆体験・・・・・・・・ 21

### II 芦屋市の平和事業（平成29年度）

平和首長会議加盟都市としての活動・・・・・・・・・・ 29

「小学生の描いた平和ポスター展」受賞作品・・・・・・・・ 33

「たゆまぬ平和への歩み」展・・・・・・・・・・ 38